

【様式 2】 個別事業調書様式

令和 8 年度矢巾町農商工共創協議会事業調書

部 会 名	農商工連携部会		
事 業 名	農商工連携具体化検討事業〔新規・継続（２年目）〕		
事業目的 （なんのために）	中小企業事業者と農林事業者等との連携による新規事業の創出。		
期待する効果 （目指す姿）	① 町内事業者の連携による新たな事業拡大の推進及び地域経済の好循環。 ② 事業検討の過程で、事業者単体での事業拡大の機会創出も見込む。		
実施内容 （いつ・どこで・ なにを・どうする）	事業の手法（該当項目にチェック）		
	☐ 補助金・助成金 ☐ 研修・講座 ☐ 実証圃・展示圃設置 ☐ 集客イベント ☒ その他（会議体の支援、事業形成の調整）		
	事業の対象者（地域や作目が限られる場合は地域名や作目名も記載）		
	町内の中小企業事業者、農林事業者及びそれらの事業者を含む会議体、或いは農林資源		
	具体的な内容		
	(1)時期： 随時 (2)場所： 矢巾町役場、やはば一くほか町内 (3)規模： 会議体による (4)主な内容： 各会議体や事業者間の連携、或いは各部会におけるアイデアにより事業創出が見込まれるものについて、検討のうえ事業化を行う。		
事業目標（数値等）	年１事業以上の連携事業具体化		
目標算定手法・時期	活動実績による、３月		
支出予算額、 うち暫定予算額 ※欄は適宜追加のこと	費目	予算額	積算根拠
	旅費	50,000 円	先進地視察費用（複数事業者が連携している事例など）
	需用費	35,000 円	会議費 2,000 円×10 回、雑費 ほか
	使用料	15,000 円	会議室使用料 3,000 円×５回
	合計額	100,000 円	
特定財源の有無 （該当項目にチェック）	☐ 有 ☒ 無		
	☐ 助成金（ ☐ ☐ その他（ ☐		
そ の 他	【継続事業の場合は継続理由を記載】		
	事業者や委員提案による事業案を具現化するため継続して取り組む個別具体化された後は、個別事業として取り組むもの		